



# おきなわ



港の見える丘展望台から見た渡嘉敷港



渡嘉志久ビーチ

## 沖縄県土地家屋調査士会 会報おきなわ NO.45

発行日	平成24年 3 月25日	発行所	沖縄県土地家屋調査士会
編集者	宮 城 朝 光		那覇市泉崎 2-1-4
広報部長	糸 数 厚		電話 (098) 834-7599
		印刷所	株式会社 国際印刷
			電話 (098) 857-3385

沖縄県土地家屋調査士会



## 土地家屋調査士倫理綱領

- 1、使命  
不動産に係る権利の明確化を期し、  
国民の信頼に応える。
- 2、公正  
品位を保持し、  
公正な立場で誠実に業務を行う。
- 3、研鑽  
専門分野の知識と技術の向上を図る。

### 渡嘉志久ビーチ

民宿のバスや乗り合いバスで阿波連ビーチに向かう途中にコバルトブルーの絶景ポイントが現れます。そこがトカシクビーチです。

30年程前に見た感動をたどって撮影して来ました。現在は展望が楽しめるように、路肩は車が駐車できるように広く、また歩道も整備されています。

渡嘉敷島に行くとは一度は立ち止まるポイントです。

日本土地家屋調査士会連合会共済会取扱

# 損害保険ご紹介

数々の危険からあなたをお守りしたい  
桐栄サービスの願いです

### 職業賠償責任保険

会員または補助者が業務遂行にあたり法律上の賠償責任を負い、損害賠償金を支払わなくてはならないときに役立ちます。

### 団体所得補償保険

保険期間中に病気・ケガによって就業不能となった場合、1か月につき補償額をお支払いする制度です。(最長1年間)

### 団体傷害疾病保険

保険期間中、国内外を問わず  
1) 日常生活におけるさまざまな事故によるケガを補償します。  
2) 病気による入院を日帰り入院より補償します。

### 測量機器総合保険

会員が所有し管理する測量機器について業務使用中、携行中、保管中等の偶発の事故を補償します。

### 集団扱自動車保険

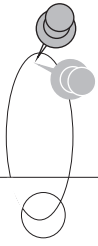
会員皆様の自動車はもとより補助者の方のマイカーも加入できます。

## 損害保険代理店 有限会社 桐栄サービス

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-2-10 土地家屋調査士会館6階

TEL : 03-5282-5166 FAX : 03-5282-5167

上記のものは各種保険の概要をご説明したものです。詳細は弊社までお問合わせをお願い致します。



## 目 次

会報発刊に寄せて .....	会 長 宮 城 朝 光 .....	1
辰年を迎えて .....	中部支部 花 城 康 喜 .....	3
地図作成総括責任者養成講座 優秀論文 .....	北部支部 松 本 武 寿 .....	5
金城榮秀名誉会長の法務大臣表彰受賞記念祝賀会 .....		8
平成23年度 第1回業務研修会 .....		11
平成23年度 三団体合同役員会 .....		13
沖縄県土地家屋調査士政治連盟主催 島袋 大県議との勉強会 .....		14
新年会 .....		15
筆界調査委員任命書交付式 .....		16
おきなわ境界問題センター・境界鑑定委員会研修会 .....		17
支部だより 南部支部研修会 .....		18
那覇支部忘年会 .....		19
新入会員紹介 .....		21
年男年女紹介 .....		22
編集後記 .....		23



## 会報発刊に寄せて

沖縄県土地家屋調査士会 会長 宮城 朝光

沖縄県土地家屋調査士会の会員のみならず、平素から会務運営にご協力いただき、感謝申し上げます。

私たち土地家屋調査士を取り巻く現状は厳しい状況にあります。日本経済が厳しい状況にあるのは、もちろん皆さんがよく知っていることです。その経済の厳しい状況が私たち土地家屋調査士にどのような影響を与えているのか、そのことについては、日調連の会報等をよく読まれている会員や全国的な状況にアンテナを向けている会員はよく知っていると思いますが、一般の会員はあまり知らないものとして説明をさせていただきます。

平成12年12月末に18709人いた全国の調査士が平成22年12月末には17545人になり、10年間で1164人の減少となっています。会員数の減少に歯止めをかけるには、いくつかの方法がありますがまず考えられるのは、日本の経済を良くすることです。

日本の経済は長いデフレからまだ抜け切れていませんし調査士の手でどうにかできる問題でもありませんが、日調連と各調査士会としてできるのは、土地家屋調査士法第3条業務のさらなる開拓であります。業務を増やすための研究をしていき、新たな業務を作り出していきたいと思いますと全国で調査士会が取り組んでいます。出来るかどうか分かりませんが、国土交通省に建築確認

時の敷地の正確な測量を義務付して土地家屋調査士にさせることは出来ないか等いくつか検討しているようです。さらに、不景気になると事務所経営のひっ迫からダンピングに走る傾向がありますが、それを阻止して、収入の安定につなげなければいけません。

そのためには土地家屋調査士制度の中で生活している会員の将来性を見据えた業務とするため、会員個々の帰属意識を高めなければいけません。また、土地家屋調査士の新たな業務としての筆界特定制度と認定土地家屋調査士の活動の場である、境界問題相談センターのさらなる発展を目指さなければいけません。

那覇地方法務局では九州の中で那覇局の筆界特定の申請が少ないということで、局長を先頭に県民に広く筆界特定制度をアピールする取り組みを2年間にわたり行いました。その努力の成果もあり筆界特定の申請が増え、筆界調査員の人数も土地家屋調査士を中心に増員されました。少ないかもしれませんが、土地家屋調査士の収入増になっているのではないのでしょうか。沖縄県土地家屋調査士会もそれを見習い、県民に対するアピールを今年度は強化していきたいと思っています。

また、地域における筆界の専門家としての研究にも取り組まなければいけません。

地籍に関する地域の慣習を研究するために、地籍問題研究会を立ち上げたいと思いますので関心のある会員は率先して参加してください。また、沖縄県の中でも2項道路とかの問題や、セットバック時の道路境界の決定と仕方等を役所に提案して、新たな土地家屋調査士の業務につなげていきたい。

土地家屋調査士の制度を発展させるには、中長期の目標を掲げて、地道に行動を起こしていかなければいけないと思います。その為にも土地家屋調査士会に対する帰属意識を高揚させ、自分さえよければいいとの考えではなく、全員が足並みをそろえて進歩していきましょう。特に若い会員は、自分たちの生きていく調査士制度を新たに生み出していくという気概を持ってほしいと祈念して挨拶とします。



## 辰年を迎えて

昭和39年（1964）辰年生まれ

中部支部 花城 康喜

新年あけましておめでとうございます。  
今年誕生日を迎えると48歳（数え49歳）になります。生まれ年の年には、生年祝いを祝う風習があります。73歳、85歳、97歳が大きくお祝いを行います。49歳も「くくぬとうぐうじゅう」といって49歳をささやかに祝うというか、仏壇に報告するとか母がしているようでした。

24、5歳のころ、49歳の生年祝いとこのことで叔父に上等な洋服を贈り、「おじさんも年取ったなあ」と感じたものでした。

そして今年、母から「上等洋服でも買いなさい」と、お祝い金を頂き、当時おじさんへ贈り物をした時のことがよみがえり、俺も年取ったなあと痛感したものでした。

人生の半分以上を過ごしてきましたが、私が土地家屋調査士を目指すにあたってたくさんの先輩調査士方からの御指導、御鞭撻がありましたのでここでご紹介したいと思います。

調査士を目指すきっかけとなったのが叔父にあたる宮城真吉先生（中部支部）の進めでした、私が高校卒業の年（昭和58年）に話があり調査士を目指すため卒業後に測量専門学校に入学することにしましたが、普通課高校卒業の私にとっては測定の知識はなく、どこの専門学校に入学するべきかの判断がつかなかったため、叔父の紹介で

ある専門学校を卒業した先輩がいるから尋ねてみなさいとのことで、沖縄市上地の繁華街のちょっと奥にはいったところにある自宅にお邪魔しました。

私にその学校について丁寧に説明し対応してくれたのが世名城盛匡先生（中部支部）でした、とても親切にしてください、その時はまだ調査士ではありませんでしたが将来を嘱望された立派な先輩に感じ好感を持った私の、調査士を目指す意志がますます高まったことは間違いありません。

専門学校卒業後の昭和60年の就職活動時には翁長良智調査士事務所（中部支部）が求人募集をしておりましたので、翁長事務所へ就職しました、翁長事務所へは金城良次先生（那覇支部）が1年先に入社していました。金城先生は専門学校の先輩で、同僚となってからたくさん学ばせて頂きました、また翁長先生も当時は琉球学院の講師の経験がありましたので講師を引退後は個人的にゼミを持ち、調査士試験にむけての勉強、心構えを指導していただきたくさんの物を吸収させてもらいました。

そのゼミからもたくさんの方々も調査士となっています。調査士を目指す同胞としてともに勉学に励んだ調査士の名前を挙げてみますと、當山清、金城榮秀、金城良次（以上那覇支部）、當原章夫（宜野湾支部）、

上門優久（中部支部）、比嘉隆（北部支部）等たくさんのメンバーが調査士として今現在活躍しています、思いだしながら挙げてみましたが誤りがあればご容赦ください。

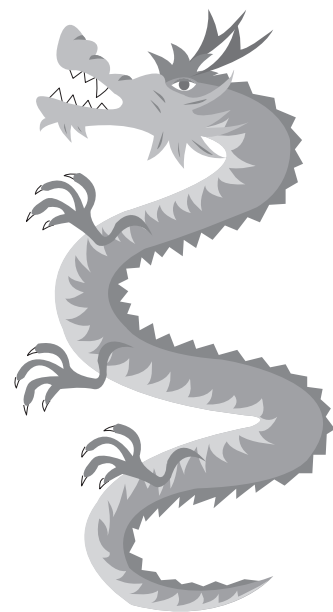
そして翁長事務所に独立開業をめざし、調査士研修生として入社してきたのが佐久川紀安先生（那覇支部）でした、私のゴルフの師匠でもあります。

開業までにたくさんの先輩方との出会いがあり、開業後も素晴らしい先輩方、後輩諸氏のみなさんとの出会いがあって今日に至っております。

常日頃の仕事上での意見交換、仕事を離れてのプライベートの時などその他多数の調査士同朋の諸先輩、諸氏方々との素晴らしい出会いも自分自身の財産です。

過去の出会いに感謝し、そして未来の素晴らしい出会いを楽しみにし、わが道を進んでいきたいと思えます。

今後とも皆さんの御指導、御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。





## 地図作成総括責任者養成講座 優秀論文

沖縄県公共嘱託登記土地家屋調査士協会  
北部支部 **松本武寿**

地図作成の専門家を輩出する目的により、昨年度全国公共嘱託登記土地家屋調査士協会連絡協議会(以下「全公連」という)が創設した地図作成総括責任者養成講座の第1回が終了し、本年4月1日付で38名の地図作成総括責任者が認定を受けて誕生します。

昨年の本誌2010年11月号(588号)の特集記事「地図作成の今、そして未来」として掲載された地図作成総括責任者養成講座(A講座:平成22年4月15日~16日、B講座:平成22年10月21日~23日)には、74名が受講しました。

土地家屋調査士として、地図作成の責任者として活躍している現役の全国の公共嘱託登記土地家屋調査士協会(以下「調査士協会」という)の社員の中から、実務経験及び地図作成に係る見識と管理能力を身に付けた者が所属調査士協会理事長により推薦され、座学・実地研修・ワークショップ・論文審査を経て、地図作成総括責任者が誕生しました。

地図作成実務・筆界に係る法理論・地図作成に係る技術論・工程管理能力・企画提案力等を身に付けた地図作成総括責任者であります。

本講座は、すべての講義(本誌588号14頁以降参照)を受講しないと論文を提出することができません。

本稿は、本講座の優秀論文を掲載し、表示に関する登記にかかわる方々の実務の参考になればと考え、ご紹介するものです。

論文テーマは、A講座が2問、B講座が1問です。

A講座の1問目は、分筆登記の際に問題となる「地割権説と権利分割説について述べよ」です。この問題は、手続法である不動産登記法において古くて新しい問題であり、民法の意思表示の解釈という法理論と不動産登記法の手続実施者(申請人と登記官)の実務上の取扱いの矛盾・問題点から、実務家としての取扱いを論じていただきました。

A講座の2問目は、地図作成時の筆界調査工程で実務家として常に意識している「現況主義と修正主義について述べよ」です。昭和35年の不動産登記法改正で17条地図(現行14条1項地図)の規定が盛り込まれて以来、登記所に送付される地図の多くが国土調査法に基づく地籍図ですが、17条地図(現行14条1項地図)に指定されている当時の地籍図作成における筆界調査の問題点の把握と現時点での改善策・考え方について論じていただきました。

次にB講座のレポート課題は、研修科目10のワークショップで「地図作成作業の合理化の検討」と題して、AからHの8班に



分けて班ごとに検討し、結果を発表していただきました。その所属する班の発表した内容を踏まえて、レポート課題を「地図作成合理化について述べよ」としました。

以上3つのテーマについてレポートを審査した結果、各レポートにおける優秀レポートと評価されたものを、それぞれ下記のとおり紹介させていただきます。

なお、地図作成総括責任者の認定者は、全公達ホームページ(<http://www.zenkoren.jp/>)にて公開しておりますので、ご確認ください。

#### ④ 沖縄県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 松本武寿

E班では各協会の現状と問題点、更はその解決策を自由な発想で検討した。結果的に4個のジャンルに分かれたので、各項目ごとに記載してみる。

##### 1 地図作成の作業効率

少数で行っており3年程度班長が変わっていない協会もあれば、60名程度の大人数で行っている協会もあった。効率でいえば少数精鋭が妥当であろうが、調査士が地図を作成するという意義を考えれば、多くの人が参画することは大事なことでもある。どこでも一番厄介であり重要なことは、立会承諾印の受領である。そこでE班で考えたのは、女子大生をバイトで雇い立会いに同席させ地主を和ませて、一気に承諾印の受領まで持っていく手法である。一見ふざけた考えにも見えるが、筆界というものが動かない以上、それを納得させることが重要なことであり、その手段としては一概

に否定できないと思われる。

##### 2 スピリッツ (調査士塊)

なぜ土地家屋調査士が地図を作らなければいけないのか、そして作るべきなのか。

- ・地図作成はボランティアである
- ・地図作りは調査士の使命なので金のこととは言うな

等の意見が出た。まさにその通りである。社会貢献をしていく中で調査士制度が世間に認められることになる。

そういう意味では、国が困っているような難しい仕事をこなし、問題解決型の営業を行っていく必要がある。

例えばリニアの用地買収は500km以上にわたり一つの県だけでは解決できないので、全公連が国交省に対して全国組織の利点と調査士の専門性をアピールすることにより、社会貢献と仕事の確保という両立も可能である。

##### 3 コストダウン・品質管理

14条地図作成でいえば法務局と、地籍調査でいえばC工程等の作業を行っている測量コンサルと共同化を図る。例えば事務所を共同で使用することにより、賃貸料や光熱費等のコストダウンが可能である。また、コンピュータ・ソフトウェアまで共同使用すれば、データの一元化・共有化が可能になり、今までのデータ受渡し時の時間ロスやコンバート時の間違いも起こらなくなり品質管理が容易になる。

また品質管理の問題点としては、調査士の測量技術がバラバラであり、特に基準点測量の技術が高くないのが調査士の弱みでもある。その部分も測量コンサルと共同で研修会を行うことにより、お互いの弱点を

カバーしながら、それぞれが技術と知識の向上を図ることができる。

#### 4 ガバナンス

14条地図作成作業を毎年全国の調査士が受託しているながら、今までこのような養成講座がなかったことが不思議である。という意見が出た。

作業担当者は全員責任が同じであることを認識する必要があり、簡単に総括に頼らない気概を持つべきである、との意見も出た。また、同じ資格者であるので上下関係がなく、指揮系統がはっきりしないのも難点であり、依頼者に安心感を与えるために、資格制度の変更を国に要請してみてもどうか、との意見も出た。例えば土地家屋調査士補や2級土地家屋調査士等の新設である。そのことにより土地家屋調査士に対する客観的な評価ができ、一般からみても同業者からみても分かりやすくなる。

以上4項目の観点から問題点や解決策を述べてみたが、4番目の資格制度の新設を除けば、すぐにでも対応が可能であり、私が所属する協会においても合理化策の一策として提案していきたい。

(まつもと たけひさ)

「登記情報593号」2011.4 論文p10, p21  
～22掲載



# 金城榮秀名誉会長の法務大臣表彰受賞記念祝賀会

平成23年10月27日(木) サザンプラザ海邦 2階 首里の間

金城榮秀名誉会長が第68回日本土地家屋調査士会連合会定時総会において、多年にわたり調査士業務に精励し法務行政に寄与された功績により、江田五月法務大臣より表彰されました。法務大臣表彰受賞を祝して平成23年10月27日那覇市旭町のサザンプラザ海邦において多数の会員の出席のもと盛大な祝賀会が開催されました。

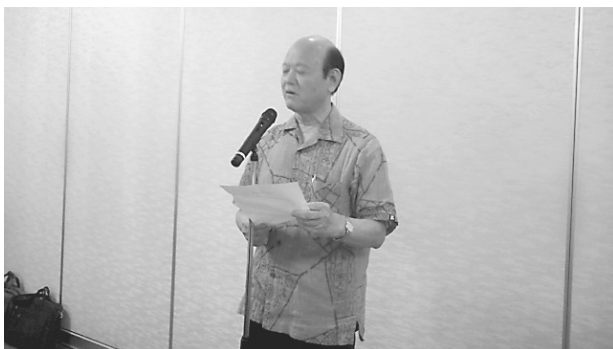
祝賀会は金城行男総務部理事の司会進行のもと又吉豊副会長の開宴のあいさつ、宮城朝光会長発起人代表のあいさつの後、松川清康顧問の祝辞があり、記念品・花束贈呈に続いて、金城榮秀名誉会長より謝辞が述べられ、仲村文宏先生の発声をもとに高らかに乾杯の音頭を捧げ、会食や歓談をしながら和やかな雰囲気ですべて進められ、宴中には名誉会長と親交のある会員からのスピーチがおこなわれ、各テーブルでは記念写真を撮りながらの賑やかな祝賀会となりました。



司会の金城行男総務部理事



又吉豊副会長の開宴のあいさつ



祝辞 松川清康顧問



宮城朝光会長から記念品贈呈



花束贈呈



島袋徹志公嘱協会理事長からの記念品贈呈



神谷長秀総務部長のスピーチ



下地裕之副会長のスピーチ



謝辞 金城榮秀名誉会長



乾杯の音頭 仲村文宏先生



名嘉文芳名誉会長のスピーチ



高良健二先生のスピーチ

**謝 辞**

皆さんありがとうございます。

去った6月に連合会総会において、江田五月法務大臣より受賞いただきました。九州ブロックからは私と佐賀会の平野さんの二人で、全国では20名でありました。

江田五月法務大臣は短い期間ではありましたが、自分としては一番大好きな法務大臣からいただいたので、とても感動しました。

これも宮城会長に推薦してもらい、那覇地方法務局からも推薦してもらったおかげだと思えます。

自分の役員暦はたったの12年ですが、平成登録で初めての受賞と聞いております。そのあと現在名誉会長として任命されておりますけど、役員を務める期間、自分が理事の時は会長を支えてまいりまして、自分が副会長、会長になった時には、とくに理事の方々にはとても支えてもらいました。たいへんありがとうございます。ここで御礼申し上げます。

これからも沖縄県土地家屋調査士会の為に更に邁進していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。ありがとうございました。



久高兼一社会事業部長のスピーチ

# 平成23年度 第1回業務研修会

(初日) 土地家屋調査士会主催

平成23年10月27日(木)午前10時 サザンプラザ海邦

「表示に関する登記における実地調査に関する  
指針(改定)」等

講師：法務局 大野 正和  
統括表示登記専門官

個人との接し方・倫理研修

講師：神谷 長秀 総務部長

基準点測量研修会 座学

講師：熊本会 島田 宗雄 先生



宮城朝光会長の挨拶



大野 正和 統括表示登記専門官



神谷 長秀 総務部長



島田 宗雄 先生



聴講する会員の皆さん

## (2日目・3日目) 公共嘱託登記土地家屋調査士協会主催

平成23年10月28日(金)・29日(土) 午前9時 西洲卸団地ホール

### < 2日目 >

観測要領説明、対回観測練習

Y型網測量実習観測

MonkeyNet を使用した観測データに基づく計算実習・解説

### < 3日目 >

前日の続き、H型網・A型網・任意網計算実習

講師：熊本会 島田宗雄先生



島袋徹志理事長の挨拶



Y型網測量実習観測に入る前の注意事項等説明



MonkeyNet を使用した観測データに基づく計算実習

# 平成23年度 三団体合同役員会

平成23年12月2日(金) 午後3時5分～

沖縄県土地家屋調査士会会館会議室

出席者：政治連盟 大城幸一会長、下地裕之幹事長、上原正昭会計責任者  
調査士会 宮城朝光会長、又吉豊副会長、久高兼一社会事業部長  
公嘱協会 島袋徹志理事長、比嘉隆副理事長、田場盛次業務部長

司会は主催である政治連盟の下地幹事長により進行。

早速、大城会長からの挨拶。先月25日の九州ブロック打ち合わせ会の報告があり、各連盟の顔ぶれが変わった。活動の方も国政中心であったが、これからは県政へも関わっていく。法務局登記事務の地方移管に関しては九州ブロックとしては反対の立場を取る。活動資金が必要なため、会費の値上げを検討するところもある。

次に調査士会の宮城会長から連合会は土地家屋調査士の業務拡大を建築確認の図面関与など検討している。登記基準点については国土交通省と交渉中。

公共嘱託業務のダンピング対策については、各地域の慣習に精通して地域性を考慮してもらえるよう地元官公署へ要望する。

先だって行われた法務局申請書類の実態調査について、非調査士行為排除対策は法務局が行

うとのこと。

続いて公嘱協会の島袋理事長から公益認定申請については県の態度が変わらず、困難さはあるが、平成25年2月に申請予定している。

登記基準点設置作業については、現在、北部から中部、そして南部へと作業を計画実施中である。閲覧システムについては近日中に社員へ閲覧できるようIDやパスワードを送信する。

その後の協議においては島袋理事長から政治連盟へ今後の県議への対応について質問があり、来年6月に県議会議員選挙が予定されて、連盟としては土地家屋調査士制度への理解と業務拡大に協力してくれる候補者へ推薦状の交付や所属選挙区の会員へお願いをする。

田場業務部長からは、法の日や相談会でADRをPRして欲しいことと、成果簿統一の研修会への協力をそれぞれ要望した。

以上、午後5時15分終了。

## 平成23年度三団体合同役員会の様子

平成23年12月2日(金) 撮影



役員会の始まる前の様子



協議中の様子



## 沖縄県土地家屋調査士政治連盟主催 島袋 大県議との勉強会

平成23年12月22日（木）午後4時～ 沖縄県土地家屋調査士会館会議室

当連盟顧問の島袋 大県議をお招きして不動産の権利の明確化を期す土地家屋調査士の業務や日常業務や公共嘱託登記業務で土地の境界トラブルになった場合の筆界特定制度の利用について説明し、ご理解頂きました。

説明後、質問を受けているところです。

その後、又吉 豊公嘱協会副理事長も参加して意見交換も行いました。



スライドショーを使って説明する様子



参加された皆さんが熱心に見入られています。

# 新年会

平成24年 1月4日 調査士会館

毎年、年初めに会館で新年会がおこなわれています。

今年は八重山支部長の遠藤先生より故郷山形の銘酒を郵送により差し入れていただきました。仲業眞業務部長もやんばるのみかんを持参していただき、ささやかながら楽しい新年会でした。

来年も遠藤先生から銘酒が届く予定です。皆さんもお時間のある方、新年のあいさつまわりの途中参加されてください。



# 筆界調査委員任命書交付式

平成24年 2月9日 那覇第一地方合同庁舎 1階共用会議室

稲吉伸博那覇地方法務局長よりあいさつをいただき、筆界調査委員（弁護士1名、司法書士2名、土地家屋調査士27名）に任命書が交付されました。引き続き大野正和統括表示登記専門官より、筆界調査委員の職務等及び筆界特定の現状の説明が行われ、30名の筆界調査委員に身分証明書も交付されました。これから2年間の活躍を期待します。



稲吉伸博那覇地方法務局長あいさつ



任命書交付式の様子



任命書を受取る佐久川調査委員



大野正和統括表示登記専門官



筆界調査委員の皆さん

筆界調査委員任命された土地家屋調査士									
仲村文宏	嘉手苺景宏	下地裕之							
佐久川紀安	高良健二	金城榮秀							
比嘉毅	糸数厚史	屋宜吉強							
久高兼一	新垣武史	新屋吉盛							
平井誠	島袋裕二	当銘盛光							
譜久山朝勝	吉里泰博	金城行男							
神谷長秀	近藤哲司	玉那覇稔仁							
大城学	仲西雅治	吉野仁孝							
城間盛義	伊盛進	親泊仲孝							

(敬称略)

# おきなわ境界問題センター・境界鑑定委員会研修会

平成24年 2月27日 午後 2時 沖縄県卸商業団地組合ホール

## 研修会次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 研修目的及び配役等の説明
- 4 調停業務の事例等の説明
- 5 調停業務のロールプレイ演習
- 6 各班の意見集約
- 7 各班の意見発表
- 8 総評
- 9 センターの現状と今後の課題
- 10 閉会



開会の挨拶 高良健二センター長



ロールプレイ演習



各班の意見発表 下地和博委員



総評 菅野貫司総評委員



閉会の挨拶 仲宗根善浩運営委員

## 支部だより

## 南部支部研修会

平成23年11月29日 沖縄産業支援センター

午前の部は調査士会の顧問もなさっている平良卓也先生（ふくぎ法律事務所）が講義をされた。「専門家の責任～土地家屋調査委の場合」と題して調査士の業務の中での損害賠償が発生する事例を実際の判例などを挙げてわかり易く講演なされた。

講義後の質疑応答では、立会いの法的根拠や、集金未払いに関する質問等会員が日頃経験する具体的かつ身近に感じている悩みが数多く出され、昼食時間予定を40分近くオーバーして（先生の都合も考えず）午前の部が終了した。（終了させた。）

午後の部は以前、会員の各事務所のパソコン

のオンラインの設定等でお世話になった嘉数淳（現在 RiseLogic 勤務）氏による「業務に活用クラウドサービス」と題して講演がされた。

インターネットを活用したクラウドサービスでスケジュール管理や、お互いの情報のやり取りが効率的に出来るコンテンツの紹介、説明を今はやりのスマートタブレット（アイパッド）を使いデモをしてもらった。

両講師とも、講義の準備などで時間をとられ大変だったと推察されるが、裕福とは言い難い（南部支部）調査士会の予算の関係で格安の講師料で引き受けてもらった。改めて御礼申し上げます。



講師の平良卓也弁護士



講師の嘉数 淳先生



熱心に講義に聞き入る南部支部の皆さん

支部だより

# 那覇支部忘年会

平成23年12月 3 日 (土)

那覇市久米2-8-10 パーム久米ビルB1 GOLF&Darts Bar Stone

那覇支部の忘年会は新企画で、スポーツバーにて近くのホテルから取り寄せた食事を、ビュッフェスタイルでいただきながら、ゴルフコーナー、ダーツコーナー、カラオケコーナーにて、腕自慢、喉自慢を披露、各コースの1位から3位に賞品が贈

られました。中には各コースで入賞するツワモノもいましたが、島袋支部長のご配慮により各人に賞品がいきわたるように配られ、その後ビンゴゲーム、じゃんけん大会と大盛り上がりでした。



司会の金城先生



島袋支部長のあいさつ

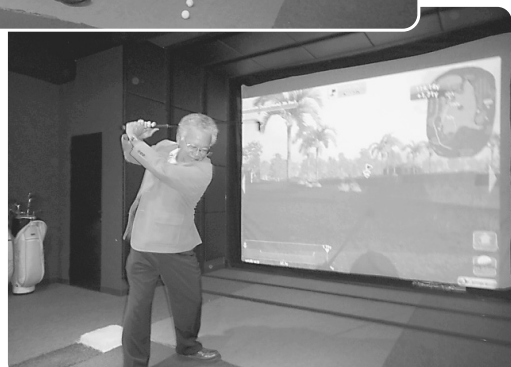


乾杯のあいさつの久場先生



会場の様子

## ゴルフコーナー



カラオケコーナー



ダーツコーナー



じゃんけん大会



表彰



閉会のあいさつの譜久山副支部長



## 新入会員紹介

## 南部支部

なか ほら たけ み  
仲原 武 己

昭和48年9月生

登録番号 第478号

入 会 平成23年5月2日

登 録 平成23年5月2日

事 務 所 〒901-0315

糸満市字照屋416-2

電 話 098-995-1441

始めまして、昨年5月に入会いたしました、仲原武己と申します。

私は、これまで土建会社、コンサルタント会社、調査士事務所の仕事をしてまいりましたが、これからは土地家屋調査士を一生の仕事とすべく、糸満市照屋にて自宅兼事務所として開業しました。

調査士事務所での勤務期間は1年3ヶ月程ですので、開業して戸惑う場面が多々あります、測量は土建会社の頃から経験があるのですが、調査士業務の測量とは全然ちがいますので日々勉強です、そして諸先輩方のご指導を仰ぎながら地域の人々に信頼される調査士になれるよう努力を怠らず、頑張っていきますのでどうぞよろしくお願致します。

ひら にし まさ や  
平 西 雅 也

昭和58年3月生

登録番号 第479号

入 会 平成24年1月10日

登 録 平成24年1月10日

事 務 所 〒901-2133

浦添市字城間2952番地13

電 話 098-943-5751

たか はし じゅん  
高 橋 潤

昭和59年10月生

登録番号 第480号

入 会 平成24年1月20日

登 録 平成24年1月20日

事 務 所 〒907-0002

石垣市字真栄里291番地

電 話 0980-87-8400

た なか ゆう き  
田 中 勇 樹

昭和46年11月生

登録番号 第481号

入 会 平成24年1月20日

登 録 平成21年7月1日

事 務 所 〒904-2161

沖縄市字大里84番地32

電 話 098-937-3369

うえ ほら かず たか  
上 原 一 尚

昭和49年7月生

登録番号 第482号

入 会 平成24年2月1日

登 録 平成24年2月1日

事 務 所 〒900-0036

那覇市西3丁目12番19号

電 話 098-866-0891



## 年男年女紹介

## 辰年生まれおめでとうござります

平成24年の年男年女は、以下の会員です。

干支	生年	氏名	支部
戊辰 (つちのえたつ、ぼしん)	昭和3年生	上原 信一	那覇支部
		座間味 肇	中部支部
庚辰 (かのえたつ、こうしん)	昭和15年生	松田 喜知	那覇支部
		大城 良雄	北部支部
壬辰 (みずのえたつ、じんしん)	昭和27年生	上門 優	中部支部
		眞榮平 勉	中部支部
		藤原 秀子	北部支部
甲辰 (きのえたつ、こうしん)	昭和39年生	花城 康喜	中部支部
		與久田 篤	宜野湾支部
		宮城 安雄	中部支部
		上原 正昭	南部支部





## 編集後記



公嘱協会の仕事で、渡嘉敷島に何度か足を運ぶ機会があり、仕事の合間を見つけて観光と釣りも楽しんでできました。

裏表紙の写真は「港の見える丘展望台」から撮影した渡嘉敷港です。

港から一番近い展望台で歩いていきましたが、ひたすら上り坂で息を切らしながら見た景色は渡嘉敷集落から港まで一望でき、また展望台等の公共施設は、環境協力税（渡嘉敷村に入る際に乗船時100円徴収）により草刈・清掃等が行き届いており気持ち良く観光が楽しめました。

今度は観光と釣りのみで、のんびりしたいものです。

広報部長 糸数 厚



安定した「はかる」を提供します

# 株式会社 測機システム

**サービス事業部**  
メーカー問わずご相談下さい

**レンタル事業部**  
最新機器をご用意しております

**販売・サポート  
事業部**  
業務効率化を応援します

優秀サービス認定店  
校正・検査認定事業者  
実用標準機CALSET-R設置

**SOKKIA**

ソキアビジネスパートナー



福井コンピュータ認定店



測量機検定室

- ・社内検査  
定期点検、修理、校正検査
- ・証明書発行  
検査・修理報告書  
検査成績書  
校正証明書
- ・機器検定受付  
日本測量協会技術センター  
日本測量機器工業会(JSIMA)

**TOPCON**



3Dレーザースキャナー  
レンタル始めました!

- ・路面形状計測
- ・ボリューム計測
- ・構造物、建築物調査
- ・災害・事故調査
- ・河川、ダム、堤防計測
- ・トンネル内空断面計測
- ・遺跡調査など



情報化施工を推進!



モータードライブTS・GNSS受信機



ノンプリズムTS      デジタルレベル

墨出し器、環境測定機器、電子平板など

- ・ソフトウェア  
土地家屋調査士専用  
公共測量・設計専用  
土木測量専用  
技術提案書作成用  
導入指導サポート
- ・ハードウェア  
ペンコン、パソコン  
周辺機器一切  
ネットワーク設置  
リモコンサポート  
メンテナンス
- ・測量機器、計測機器  
・中古測量機
- ・環境測定機器、安全機材  
・建設材料試験機
- ・境界明示用品(ﾌﾟﾗ杭他)
- ・測量、製図用品
- ・シャープ複写機、家電
- ・事務機、事務用品
- ・セミナー企画
- ・講師派遣など

お問合せはお気軽に!

**TEL 098-880-6505**

**FAX 098-880-6573**

〒901-0153 沖縄県那覇市宇栄原3丁目9番7号

<http://www.sokki-system.jp/>

2012 Trimble PARTNERS OKNAWA

# 網平均計算 応援！ キャンペーン

①

M3 セット



「平面観測(対回観測)」  
公共測量対応プログラム  
標準搭載

- ・ 観測データ (APA) は簡単にUSBで
  - ・ Windows搭載トータルステーション
    - ・ 世界最小最軽量級
  - ・ ダブルバッテリーで「観測長時間」
    - ・ 国土地理院2級
  - ・ クラス最高精度「精度区分2”」
- ニコン・トリンブル純正 木製三脚×2  
製準台・求心アダプター×各2(着脱式)

②

S6 セット



「平面観測(対回観測)」  
公共測量対応プログラム  
標準搭載

オートロック(自動視準同時追尾機構)  
標準装備

- ・ 対回観測は全自動で
  - ・ 観測データ (APA) は簡単にUSBで
  - ・ Windows搭載トータルステーション
- ニコン・トリンブル純正 木製三脚×2  
製準台・求心アダプター×各2(着脱式)

お問い合わせは

Trimble Partners Okinawa Inc.  
 トリブルパートナーズ沖縄有限公司

沖縄県那覇市銘苅211-1 ユーカリ那覇209

TEL 098-861-7917 FAX 098-861-7915

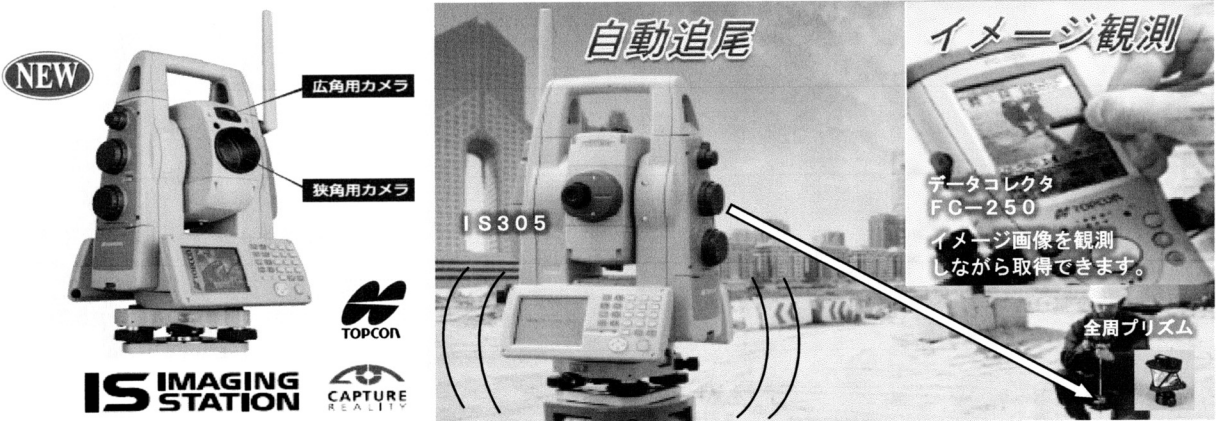
Email : trimblejp@ybb.ne.jp

# 土地家屋調査士様向けキャンペーン

## 画像付きで高効率な、モータードライブ型 トータルステーション(ワンマン測量対応)が、 なんと月々¥00,000でレンタルできます。

イメージングステーション 国土地理院登録 2級Aトータルステーション

### IS305 ワンマン測量対応型一式



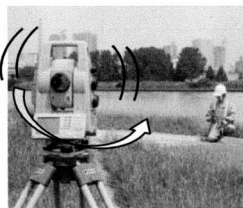
イメージングステーションのワンマン観測は、手元のデータコレクタの画像を使って遠隔操作で自動旋回、自動視準、自動追尾、ノンプリズム現況観測、イメージ測設、タッチドライブ、などの機能を使用できます。忙しい時一人で現場に行き観測が可能になります。少数精鋭、省電力化、大幅な作業のスピードアップ、コスト削減、時間短縮の実現に！

#### イメージ測設



測設方向を現場画面上に表示

#### 自動旋回



#### アプリケーションソフトウェア

##### ■基本観測CE (FC-250用)

イメージ観測による単角・対回観測、イメージ測設が可能なアプリケーション。検測、交点計算、面積計算、面積分割、観測データ送信、座標データ送受信機能。  
※イメージ観測はデータコレクタ用ソフトウェアのみ対応

##### ■測量基本CE (IS305用)

単角・対回観測、測設・検測、交点・面積計算、面積分割、観測データ送信、座標データ送受信が可能なアプリケーション。

#### タッチドライブによるノンプリズム現況観測



#### タッチドライブによるプリズム再ロック



#### 自動視準



● お問い合わせは・・・ **(有) 南部測量機** TEL: 992-3115  
住 所: 糸満市西崎町4-17-23 URL: <http://nanbusok.com>

ソフトウェア開発及びパッケージ販売、導入コンサルタント、保守サービスは豊富な実績を持つ当社にお任せ下さい。

OA関連事業

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| ・複写機販売・保守サービス      | ・サプライ(消耗品) |
| ・コンピュータ機器販売・保守サービス | ・レーザープリンタ  |
| ・土地家屋調査士向けシステム     | ・ネットワーク構築  |



**SBM** 株式会社 **創和ビジネス・マシナズ**

IBM Business Partner

### 実務参考図書のご案内

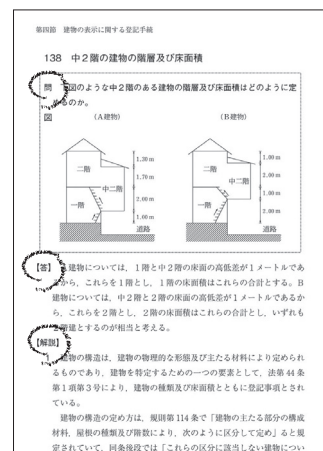
- ✓ **登記実務のエキスパートが解説!**
- ✓ **多種多様な土地・建物の登記について具体的に解説!**
  - 現場での疑問・実例が満載です。
  - 根拠条文・先例・判例と関連付け、具体的に解答を提示しています。
- ✓ **シリーズ全巻合わせて 1,043 の設問を収録!**
- ✓ **希少な事例も収録!**

～ 備えておきたい必携書～

新版  
Q&A  
**表示に関する  
登記の実務**

中村隆・中込敏久 監修 荒堀稔穂 編集代表

第1巻 登記手続総論・土地の表題登記・分筆の登記 A5判 560頁 2007年 1月刊 定価4,935円(税込)	<b>全187問</b>
第2巻 合筆登記・地積更正・地目変更・地図訂正 A5判 562頁 2007年 5月刊 定価5,040円(税込)	<b>全183問</b>
第3巻 地積測量図・土地の滅失の登記・特殊登記 A5判 500頁 2007年11月刊 定価4,725円(税込)	<b>全146問</b>
第4巻 建物の表題登記・建物の増築の登記 A5判 504頁 2008年 5月刊 定価4,725円(税込)	<b>全185問</b>
第5巻 建物の合体・合併・分割の登記、区分建物の登記、 建物の滅失の登記、建物図面関係 A5判 640頁 2008年12月刊 定価5,775円(税込)	<b>全176問</b>
特別編 筆界特定制度 一問一答と事例解説 筆界特定実務研究会 編著 A5判 672頁 2008年 1月刊 定価5,880円(税込)	<b>全166問 + 事例解説</b>



「設問」→「解答」→「解説」の流れに沿ったわかりやすい説明が好評です。

～事務所運営と合理的な報酬のあり方を考えるための実用書～

# ガイダンス 土地家屋調査士報酬

CD-ROM付

鈴木 修・佐川祐介・吉崎英司・岩倉弘和・餅田慎治 著

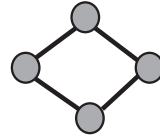
A5判 368頁 定価5,460円(税込) 2011年11月刊

- 土地家屋調査士と依頼者の双方が納得できる報酬を算定するための、原価計算の基本から報酬算定の根拠までを詳しく解説しています。
- 主要事件別の報酬算定の根拠とその考え方及び注意点を、Q&Aでわかりやすく説明しています。
- 付属CD-ROMでは、原価のシミュレーションや、それを踏まえた見積書や請求書・領収書を作成でき、事件管理も行えます。

日本加除出版 〒171-8516 東京都豊島区南長崎3丁目16番6号 詳しい情報は当社ホームページで!  
営業部 TEL (03)3953-5642 FAX (03)3953-2061 <http://www.kajo.co.jp/>

# 点から線に

from a point to a Line



## Think different

～新しい発想をしましょう～

- ・社内LAN配線工事・無線LANアクセスポイントの設置工事
- ・コンピュータ機器・プリンタ機器・消耗品の販売
- ・オンライン申請システム導入サポート・各種OA機器修理・サポート
- ・ホームページ作成サポート

**ご相談ください。お手伝い致します！！**

ライズ

ロジック

株式会社

# Rise Logic

〒901-2301 沖縄県中頭郡北中城村字島袋549-46

TEL 098-933-6381

[info@rise-logic.com](mailto:info@rise-logic.com)





事件管理から登記申請まで、事務作業はこれ1本!

New Version

TREND REGIC

土地家屋調査士事務支援システム【トレンドレジック 2013】

さらなる新機能が搭載された「TREND REGIC 2013」2012年2月リリース!

スケジュール管理

受託データごとに予定項目や日報の入力ができます。予定項目の一覧表示/印刷もでき、日報から作業報告書を作成することもできます。



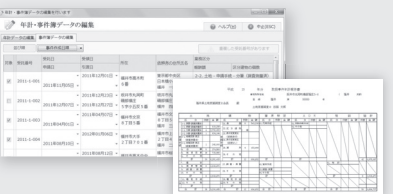
見積・請求・領収書作成\*

事件データ毎に報酬額計算書を作成、それを基に、見積書~請求書~領収書を一貫して作成することができます。事件簿や年計表へも連動します。



事件簿・年計表作成\*

事件データの申請人や登記の目的と報酬額の情報から、年ごとの事件簿の作成ができ、さらに事件簿の集計から年計報告書が作成できます。



\*オプションプログラムの機能となります。

福井コンピュータ株式会社 www.fukuicompu.co.jp

■沖縄出張所 / 〒900-0032 那覇市松山1-21-8 サンハイツ松山1F  
Tel.098-863-3985・Fax.098-863-3986

■本社 / 〒910-8521 福井市高木中央1-2501 Tel.0776-53-9200・Fax.0776-53-9201

福井コンピュータホームページにて  
動画を公開中!!

●詳しくは  
福井コンピュータ 検索

\*TREND REGIC製品ページをご覧ください。